

2014.2.1

追悼－巨匠クラウディオ・アバドを偲んで

プログラム

去る1月20日、世界的な名指揮者、クラウディオ・アバドが亡くなりました。享年80歳。今日はアバドが歴任したオーケストラとの演奏を年代順に辿りながらこの名指揮者を偲びたいと思います。アバドは1933年6月26日ミラノの音楽一家に生まれました。1963年にミトロプーロス国際指揮者コンクールで優勝。1972年～1986年ミラノ・スカラ座の音楽・芸術監督、1979年～1988年ロンドン交響楽団の音楽監督、1971年ウィーン・フィルの首席指揮者を経て1986年～1991年ウィーン国立歌劇場音楽監督、1990年～2002年ベルリン・フィル音楽監督、2003年からは世界の一流演奏家を集めたルツェルン祝祭管弦楽団の芸術監督として亡くなるまでその地位にありました。アバドの指揮はどこまでも精緻で、真面目な音造りに徹していました。時としてそれが物足りなく感じることもありました。じっくり聴いてみると、その時代、共演者、オーケストラによって常に新鮮な音楽を探し求めていたように思います。軽快なロッシーニ、瑞々しいポリーニとのモーツァルト、若々しい情熱に溢れたマーラー、躍動的で生き生きとしたカルメン、伸び伸びとした自然体のブルックナー、どの時代を辿ってもアバドの芸術を伝えるに相応しい演奏と言えるでしょう。

ジョアキーノ・ロッシーニ (1792～1868):

歌劇“セヴィリアの理髪師”序曲

ヴォルフガング・アマテウス・モーツァルト (1756～1791):

ピアノ協奏曲第23番イ長調K.488～第1、第2楽章は全曲

マウリツィオ・ポリーニ (ピアノ)

クラウディオ・アバド指揮ミラノ・スカラ座管弦楽団

(1973. 5.25 ウィーン・ムジークフェラインサールでのLive)

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770～1827):

バレエ音楽“プロメテウスの創造物”序曲op.43

クラウディオ・アバド指揮ロンドン交響楽団

(1984.4. ロンドンでのLive)

クスタフ・マーラー (1860～1911):

交響曲第1番ニ長調“巨人”～第1楽章一部、第4楽章

クラウディオ・アバド指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

(1991.2.17 ウィーン・ムジークフェラインサールでのLive)



*** 休憩 ***

ジョルジュ・ビゼー (1838～1875):

歌劇“カルメン”から

前奏曲～第一幕“恋は野の鳥(ハバネラ)”

第二幕“諸君の乾杯を喜んで受けよう(闘牛士の歌)”/“にぎやかな楽の調べ(ジプシーの歌)”

アンネ・ゾフィー・フォン・オッター(メゾ・ソプラノ)…カルメン/

プリン・ターフェル(バリトン)…エスカミーリョ/オルフェノン・ドノステイアーラ合唱団

クラウディオ・アバド指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団

(1997.12.31 ベルリン、フィルハーモニーホールでのLive)

セルгей・プロコフィエフ (1890～1953):

バレエ音楽“ロメオとジュリエット”

モンタギュー家とキャピュレット家～タイボルトの死

クラウディオ・アバド指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団

(1996.5.1 ロシア、マリインスキー劇場でのLive)

アントン・ブルックナー (1824～1896):

交響曲第5番変ロ長調～第4楽章

クラウディオ・アバド指揮ルツェルン祝祭管弦楽団

(2011.8.19 ルツェルン国際会議場センター・コンサートホールでのLive)